

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

丹波篠山の家

グループの名称

丹波篠山に優良住宅を創る会

直近採択グループ番号

06-0360-0565

(グループ代表者)

代表者名

大前 裕樹

代表者印

代表者所属先

株式会社大市住宅産業

代表者所在地

兵庫県篠山市吹新64-2

代表者電話番号

079-590-1233

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社中井工務店

事務局担当者名

中井 雅人

印

事務局郵便番号

669-2702

事務局所在地

兵庫県篠山市本郷670

事務局電話番号

079-592-0266

事務局FAX

079-592-0357

事務局担当者E-mail

nakaiarc@maia.eonet.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	丹波篠山の家
2. グループの名称(必須)	丹波篠山に優良住宅を創る会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0360-0565
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県、大阪府、京都府
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	大前 裕樹
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社大市住宅産業
8. グループ代表者所在地(必須)	兵庫県篠山市吹新64-2
9. グループ代表者電話番号(必須)	079-590-1233
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社中井工務店
11. グループ事務局担当者名(必須)	中井 雅人
12. グループ事務局郵便番号(必須)	669-2702
13. グループ事務局所在地(必須)	兵庫県篠山市本郷670
14. グループ事務局電話番号(必須)	079-592-0266
15. グループ事務局FAX番号(必須)	079-592-0357
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	nakaiarc@maia.eonet.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	3	
V. 設計	3	
VI. 施工	11	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	2	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材	/	3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
	兵庫県産木材	兵庫県		兵庫県産木材証明制度	1	国内
	兵庫県産木材	兵庫県		ひょうご県産木材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		13	棟			
					1820	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1	棟			
					140	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助金割り当て棟数÷施工業者希望棟数=割り当て棟数比率 比率が1未満の場合は1とする								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
VII. 木材を扱わない流通						
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					
	VII -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丹波篠山の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 丹波篠山に優良住宅を創る会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0360-0565	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○地盤調査を100%実施し、地盤補償の保証書を発行する。 ○長期優良住宅の耐震等級を3に設定する。 ○温熱環境に配慮して断熱性能を長期優良住宅認定基準以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式		
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	篠山市には景観条例がありますので条例を順守する事はもちろん、その他の地域でも昔からの景観や街並みに配慮した設計を心がけることとします。条例範囲外の地域でも地域の街並みによって外観に配慮し「町の地域」「山の地域」「田園地域」に分けて地域にふさわしいデザインになるように努めます。具体的には地域によっては屋根の形状を入母屋、切妻、寄棟に限定し屋根材は瓦屋根とする。	◎
④①～③の背景	篠山盆地は昔、湖水であり比較的軟弱地盤が多く、御所谷断層など活断層もあります。また、気候は年較差、日較差ともに大きい内陸型気候が特徴です。兵庫県丹波篠山地域は国の「伝統的建造物群保存地区」や城下町があり景観条例等が施行されています。また多くの田園風景が残る地域で都心部からの観光客も多くなり、昔の建物「古民家」を利用した宿泊施設や飲食店、雑貨屋さんなども近年非常に多くなっています。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 構造材は兵庫県産材の杉・桧とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材のグループ内統一単価表を作成し地域材の価格情報をグループ内で共有する。単価表の作成に当たっては(原木供給業者～施工)まで参加により決定する。特定の事業者が不利にならないように配慮する。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループのスケールメリットを利用しての資材の共同購入を図り仕入れ金額を抑えます。また地域材の使用数量の予測が早い段階でたてられるので地域材の確保をしてもらい、停滞なく現場に搬入できるようにしていきます。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 月一回の定例会時に検討を重ねている。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 情報発信を積極的に行い定例会への参加業者を増やす。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 地域材の施工ルール(部位、寸法)をマニュアル化しどの施工店でも同精度の地域材が使えるようにする。それ以外の部位でも勉強会を通じて難しい納まりや問題となっている部分の解決策を図りグループ内で情報を共有していきます。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: グループ内の統一検査マニュアルを使用して検査を行い、担当施工店だけでなくグループ内企業を使用し第三者の目線でもチェックを受ける。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 地域材のグループ内統一単価表を使用し地域材の価格情報をグループ内で共有する。単価表は常に更新し作成に当たっては(原木供給業者～施工)まで参加により決定する。特定の事業者が不利にならないように配慮する。出来る範囲で一般消費者にも公表する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: グループのホームページや新聞折り込みチラシを利用した広報活動を行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 現時点では導入出来ていない会社も含め、導入の先進事例のセミナーを聞く。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 大工の技能に応じた給与体制をつくる為の学習会を開く。	○
③ 社会保険への加入	■ ない □ ある → 内容: 各社の対応に任せている。	
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 自治体や組合の集団健康診断を受診する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丹波篠山の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 丹波篠山に優良住宅を創る会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0360-0565	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報はデータ化管理する。出る限り第三者機関の履歴情報管理サービスを利用する。定期点検方法はグループ内点検基準を使用し実施する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: できる限り第三者機関の履歴情報管理サービスを利用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告提出時に事務局にて確認。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去6年間地域型住宅ブランド化事業・グリーン化事業で蓄積したメンテナンスのノウハウを精査し運用しやすいグループ基準を再作成し住宅に適用する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の定例化において各施工業者より報告。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地元小学生を対象としたDIY教室を夏休みに実施。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地元のイベントにブースを設置して実施。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の定例会時に実施。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事中の倒産廃業時にはグループ内施工店が速やかに工事を引き継ぎお施主様の負担を軽減する。引き渡し以降に担当施工店が倒産廃業した場合はお施主様に事情を説明しお施主様が希望されれば他の施工店で家守りを継続していく。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の定例会時に辞令勉強会を実施。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助金利用現場はその現場ごとに技術的な勉強会を開催して長期優良住宅等未経験工務店への技術的なアドバイスをを行う。また申請、設計の段階から相談に乗りバックアップしていく。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造材は必ず決められたグループ業者より購入する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告時に事務局が確認	◎
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: この事業の主旨に賛同する業者、グループの賛同者を募りもう少し広域に活動できるようにメンバーを増員する。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 3	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 3	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の開催情報をこまめに流し、定期的に受講の有無を確認していきます。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 丹波篠山の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 丹波篠山に優良住宅を創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0360-0565	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		◎、○ 記入欄												
【平成30年度対応方針】														
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>地域材を構造材(柱、梁、桁、土台)に使用する。2次部材及び下地材、仕上げ材に地域材を使用。構造材全数量の55%以上に地域材を使用しかつ2次部材、下地材、仕上げ材の2㎡以上に地域材を使用すること。地域材の購入はグループ内の原木供給業者より購入し同じグループ内の製材業者で製材された商品を使用する。その後構造材においてはプレカット業者その他商品については建材流通業者か直接中小工務店へ納品する。県産木材の認証及び証明書発行は制度上定められた業者が適宜申請し証明を受ける。</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の定例勉強会において地域材の在庫量や価格情報を発表してもらって情報を共有する。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p><input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月一回の定例勉強会において地域材の在庫量や価格情報を発表してもらって情報を共有する。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 年度初めに聞き取りを行い年度末に集計をし公表します。</p>	◎												
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 60枚</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 300坪</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50枚</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50枚</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 篠山市は丹波焼(陶器)の産地であることから丹波焼を使用した手洗い鉢や陶板タイル、表札プレート等積極的に建築に採用できるように努力します。</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>	◎												
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 篠山市には「伝統的建造物群保存地区」があり多くの街並みや建物デザインの専門家や住民有志によるグループがありますので連携し勉強会等を実施していきたいと思っています。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 篠山市には「伝統的建造物群保存地区」があり多くの街並みや建物デザインの専門家や住民有志によるグループがありますので連携し勉強会等を実施していきたいと思っています。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取り入れた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の古民家を研究し現代の住まいに生かしていく。具体的には軒の深さや間取り等</p> <p>その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <p>和の住まいを利用した塾(仮称)寺子屋事業を民間塾経営企業と開始。子供の間に和の家に触れ合う機会を与えます。</p>	◎												

カ. その他		◎、○ 記入欄
【平成30年度対応方針】		
東日本大震災の復興に資する取組	今回の補助金を使用して受注した物件1件につきグループ内で定めた金額を東日本大震災の復興活動をされている団体に寄付をする。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	今回の補助金を使用して受注した物件1件につきグループ内で定めた金額を熊本地震の復興活動をされている団体に寄付をする。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 丹波篠山の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 兵庫県、大阪府、京都府
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 丹波篠山に優良住宅を創る会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0360-0565	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。